

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公開番号】特開 2019-115585 (P2019-115585A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2017-252505 (P2017-252505)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/022 (2006.01)

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 6 3 4 Z

A 6 1 B 5/16

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 9 日 (2020.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血圧測定部により計測された被計測者の血圧値を取得する血圧値取得部と、  
前記被計測者の平常時の第 1 脈拍数、及び前記血圧値が計測された時間帯における前記被計測者の第 2 脈拍数を取得する脈拍数取得部と、  
前記第 1 脈拍数に基づいて、前記被計測者の自律神経の第 1 緊張度合いを算出し、前記第 2 脈拍数に基づいて、前記被計測者の自律神経の第 2 緊張度合いを算出する算出部と、  
前記血圧値に基づいて当該血圧値が高血圧に分類されるか否かを判定し、高血圧に分類されると判定する場合にのみ、前記第 1 緊張度合いと前記第 2 緊張度合いとの比較に基づいて、前記血圧値の血圧の種類を判定する判定部と、  
を具備する情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 緊張度合いと第 2 緊張度合いとの比較に基づいて、前記血圧値の計測時に前記被計測者がストレスを受けた状態にあったか否かを判定する判定部を更に備え、  
前記判定部は、前記血圧値の計測時に前記被計測者がストレスを受けた状態にあったと判定された場合に、前記血圧値についてストレス性高血圧の疑いがあると判定する、  
請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記判定部は、前記血圧値の計測時に前記被計測者がストレスを受けた状態にないと判定された場合に、前記血圧値について持続性高血圧の疑いがあると判定する、  
請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記血圧値が計測された位置を表す位置情報を取得する位置情報取得部を更に具備し、  
前記判定部は、前記血圧値についてストレス性高血圧の疑いがあると判定された場合に、前記位置情報に基づいて、前記ストレス性高血圧の種類が白衣高血圧、職場高血圧およびその他の位置に関連付けられた高血圧のいずれであるかを判定する、  
請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記判定部は、判定結果を表す情報を出力する

請求項 2 乃至 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記判定部は、前記被計測者に対し、平常時の血圧測定を勧める情報を出力する

請求項 2 乃至 5 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

血圧測定部により計測された血圧値を処理する装置が行う情報処理方法であって、

前記血圧測定部により計測された被計測者の血圧値を取得する過程と、

前記被計測者の平常時の第 1 脈拍数、及び前記血圧値が計測された時間帯における前記被計測者の第 2 脈拍数を取得する過程と、

前記第 1 脈拍数に基づいて、前記被計測者の自律神経の第 1 緊張度合いを算出し、前記第 2 脈拍数に基づいて、前記被計測者の自律神経の第 2 緊張度合いを算出する過程と、

前記血圧値に基づいて当該血圧値が高血圧に分類されるか否かを判定し、高血圧に分類されると判定する場合にのみ、前記第 1 緊張度合いと前記第 2 緊張度合いとの比較に基づいて、前記血圧値の血圧の種類を判定する過程と

を備える情報処理方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の情報処理装置が具備する各部としてプロセッサを機能させる情報処理プログラム。